



Amir Tsarfati

アミールより、年末のメッセージ
日本時間 2021 年 1/1 午前 1 時 配信

誰であれ、一度必ず経験するけれど、二度はご免と思う事があるものです。たとえば、歯科治療、JFK 空港の保安検査の長い列、初めて「ベジマイト」(*)を食べること etc. …生涯で“トラウマ級”に匹敵する出来事と遭遇する時、みんな早く終わって欲しいと思わず祈るような、そんな類いの数々です。多くの人にとって 2020 年は、まさにそのような年でした。

(※ベジマイト：オーストラリアの発酵食品。臭いと味に強いクセを持つ)

バグダッド国際空港で起きたイランのカッセム・ソレイマニ将軍暗殺事件を受けて、再び中東戦争勃発か、という不安から昨年は始まりました。その後、私たちは、危険なウイルスの噂や、中国・武漢市で起きていた、とても奇妙な出来事を知り始めました。2 月の段階で、世界的パンデミックが発生していたのは明らかであり、WHO は対応に遅れをとりました。COVID-19 ウイルスは、すぐに職権乱用と、横暴な政治汚職への扉を開きました。パンデミックは、あまりにも露骨に悪用されたため、国と国の間、そして各国内でも、かつてない大きな不信感が生まれました。教会においても、教会の指導者達（牧師・長老）が、行政当局に従う義務を聖書に照らして確認するため、御言葉を調べなければならず、渦中に巻き込まれてしまいました。

世界中の人々の目は、拡大する脅威に米国がどのように対処するかを、固唾を飲んで見守っていました。多くの人々は、合衆国憲法が国の政府によって尊重され、堅持されているのを見て励まされる一方で、同じ憲法が各州や地方自治体によって破壊され、踏みにじられているのを目の当たりにしてショックを受けました。カリフォルニア州では、教会は閉鎖を命じられましたが、風俗営業店は営業継続を認められていました。他の地域では、問題を抱える人々のカウンセリング利用は不可でしたが、カジノや、マリファナを扱う薬局、酒屋は営業していました。道徳的な墮落と、霊的な衰退は避けられず、まさにそれが起こったのです。

しかし、2020 年は悪いことばかりでもありませんでした。イスラエル人として、私はそれを証明することができます。この 1 年に、アメリカ、イギリス、フランス、ウクライナ、インド、エチオピアから、先祖代々の故郷に帰還して来たユダヤ人は、記録的な人数でした。崩壊しつつある世界の近隣諸国の中で、イスラエルの経済は好調を維持し、民主主義は繁栄してきました。イラク、イラン、シリア、リビアでは、戦闘が続いていますが、イスラエルは“安定と繁栄の島”のような存在であり続けています。4 ヶ月足らずの間で、4 つの歴史的な平和条約が調印されました。このように、悪い年であっても、良いことがあった証拠が分かります。

良いことも悪いことも、クリスチャンとして確信できることが一つあります。それは、すべては神の御手の中にあり、私たちは共に ゴール目前に到達しているということです。このため、私たちの喜びは状況に左右されることはありません。パウロはこう書いています。

「乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。私は、貧しさの中にある道も知っており、豊かさの中にある道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。私は、私を強くしてくだ



Amir Tsarfati

アミールより、年末のメッセージ
日本時間 2021 年 1/1 午前 1 時 配信

さる方によって、どんなことでもできるのです。」（ピリピ人への手紙 4 章 11-13 節）

2020 年に足元をすくわれて、2021 年はもっと悪くなるのではないかと心配している人は、このパウロの言葉を思い出してください。あなたの中にキリストがあるから、あなたはどんな状況に直面していても、生き延びることができ、成功することさえできるのです。敵は嘘つきで、私たちの希望を奪おうとしています。しかし、私たちの希望はこの世にはありません。古い讚美歌にあるように、「私たちの希望、イエスの血と義に勝るものはない」とあります。2021 年はゴールに目を向け、祈りと御言葉の中での時間と、奉仕を通して「キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目指して一心に走」りましょう。（ピリピ人への手紙 3 章 14 節）

主の再臨を待ち望み、
アミールツアルファティ

<https://mailchi.mp/beholdisrael/amirs-weekly-roundup-july-7-22-1006285>

<Twitter 投稿>（抜粋）

■レバノン・シリア国境近くで イスラエルと推定される攻撃、弾薬庫に命中。

2020 年 12 月 29 日

シリアで、イスラエルによる空爆と思われる事件では、1 人の死傷者と複数の負傷者が報告されている。

■モロッコ代表団、国交正常化を受けてイスラエルに到着

2020 年 12 月 28 日

ユダヤ人国家とモロッコの関係が正常化したことを受けて、今週、モロッコの代表団がイスラエルに到着した。

■イスラエル南部にロケット弾が射ち込まれた報復で、IDF はガザのハマスを攻撃

2020 年 12 月 26 日

イスラエルの報復攻撃では、ハマスの軍事組織の複数の標的にされ、建物の被害に加え負傷者も報告されている。

■イスラエルの空爆でイラン利害関係者が標的に、死傷者が報じられる

2020 年 12 月 25 日

木曜日の夜、イスラエルの空爆を受けて、シリアで複数のイラン支援民兵が殺害されたと報道。

以下省略